



今尾の子



令和5年度 えのき通信
海津市立今尾小学校だより
令和5年7月1日

「学び」に必要な体験活動の再開

新型コロナウイルスの影響を受けて中止となっていた教育活動が再開されています。単にコロナ禍前に戻すのではなく、子供たちにとって必要だと判断する活動については、今後も再開する予定をしています。六月は様々な校外学習や講師を招いての学習会等を行いました。

- 「堀田の田植え体験」
- 「町探検」
- 「認知症サポート講座」
- 「読み聞かせ」
- 「歴史民俗資料館見学」
- 「給食試食会」・・・。



体験活動に向かう子どもたちの目は、子どもも輝いていて、校外学習等の直接体験による学びを積み重ねていると思います。一学期最後の月の七月。そして、一ヶ月以上ある夏休みがすぐそこに来ています。一学期の締めくくりに向け、節目を感じながら生活することは、『自分を高めるチャンス』です。力強い前進に挑み続けていることに頼もしさを感じずにはいられません。誰もが気持ちよく学びに向かうことができず、学校の様々な基盤づくりに、全校が一体となって励んでほしいと願っております。

締めくくりに七月に「大切にしたいこと」

一つ目は、できたことを続けて本当の自分の力にしてほしいです。中休みや昼休みになると毎日鉄棒の練習をしている子がいま。逆上がりができるようになったと言っている時がありました。毎日練習することにより、本当の自分の力になりました。

二つ目は、「これをやるぞー」と自分で決めたことをやりきって自信にしてほしいです。係の仕事や委員会の仕事、キャンペーンなど自分でこれだけのことはやるぞと決めたことは最後までやりきりましょう。やりきることによって充実感が得られると共に自信につながります。いろいろなことに挑戦する意欲にもつながります。

以上、二つのことを大切に一学期のまとめができることを期待しています。

「学校で学ぶことのよさ」とは何か

第一に、家において一人で勉強するより学校の方がより多くの体験ができます。学校には施設や教材が整っており、先生や仲間がいることで学習を楽しくわかりやすく進めることができます。

第二に、人との関わり方を学ぶことができます。世の中には自分と考え方や性格が違う人がたくさんいます。学校でいろいろ

な人と出会う経験は、将来多くの人とともに生きていく力となります。さらに、様々な見方や考え方を知ることによって、自分の世界を広げることができます。

第三に、自分の個性を知ることができま。学校では、自分がしたいことだけでなく、やらなければならないこともあります。自分からはやろうとしなかった様々な活動や学習を通して、自分の新たな面を知ったり自分は何に向いているのか、何が好きなのかなどに気付いたりすることがあります。

第四に、社会で自分らしく生きていく力を付けていくことができます。係や行事で自分の役割の責任を果たしたり、創意工夫して取り組んだり、全力を尽くしたり、周りの人と協力したりすることで、自信をつけることができます。この経験が、自分の人生を自分で切り拓く力になっていきます。

今の時代、学ぶ方法はさまざまです。「なぜ、学校に行かないといけないのか」といった子どもたちの素朴な疑問に対して、どう答え、どう接していくのかは、とても大切だと思います。もし、お子様が疑問を投げかけてきた際には、知識を得るだけではない良きについてお話いただくと、子どもなりに納得をして、歩みを止めずに頑張れると思います。

(高橋 崇敏)

